

# 歯科医院の

# トリセツ

笠間慎太郎 / 著



治療編

医歯薬出版株式会社



# むし歯になりやすい部分ってあるの？



むし歯がよく発生する部分があるので、  
気をつけましょう

むし歯になりやすい部位、ザックリいうと……

①歯の上の溝

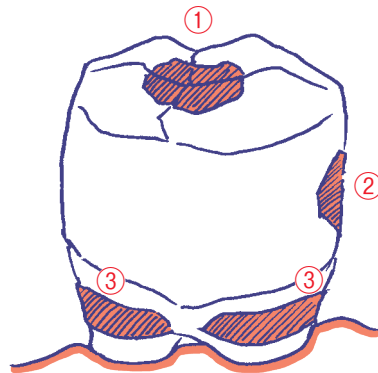
歯の上の部分は咬合面といいます。向き合う歯と噛み合うために複雑な形をしていて、そこにむし歯菌や糖分が残りやすいのです

②歯と歯の間

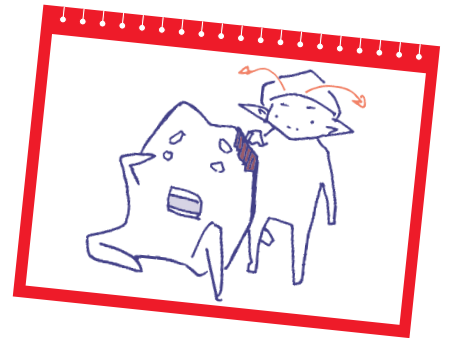
隣の歯と近づく部分です。こうした部分は歯ブラシの毛が入りにくく、磨き残しが起きやすいのです

③歯の根

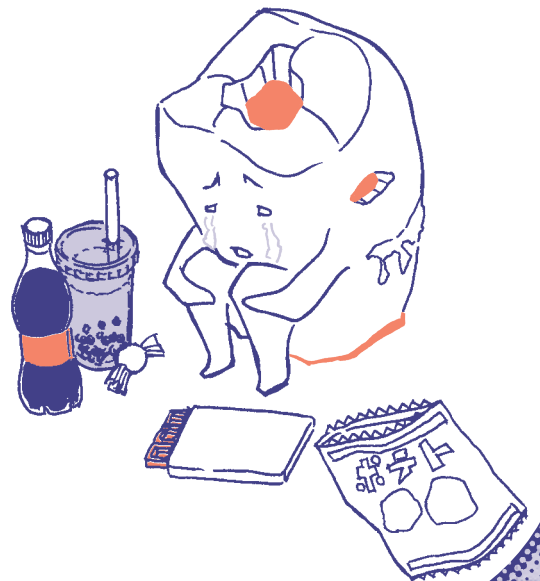
歯周病などでこの部分が露出し、むし歯ができてしまいます。これを「根面う蝕」と呼びます(歯の根の部分のむし歯、ということ)



←根面う蝕は加齢とともに増加する傾向があります



歯において、再石灰化できないほど大きく壊れてしまったところを人工的に復活させるような技術はありません。どうしても、治療が必要になってしまいます。ですので、「甘いものをだらだら食べない」(脱灰している時間より再石灰化している時間を長くする)ことを心がけましょう(通院編p.50参照)



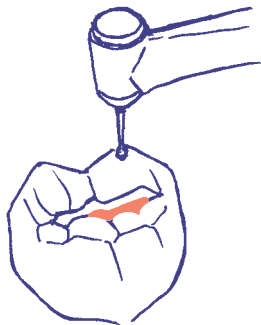


# 口のなかでどうやって歯の形を作るの？

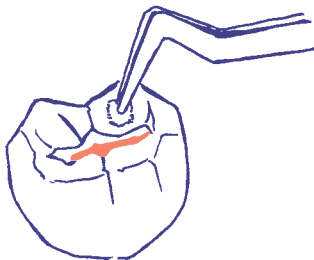


## ちょっとずつコンポジットレジンで 形を作り、光で固めていきます

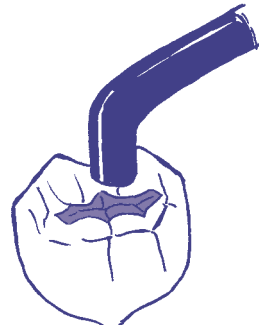
あまり大きくない穴の場合や、目立つ部分でない(咬合面)場合、むし歯を削った後、そのままコンポジットレジン(18ページ参照)で埋めていきます。



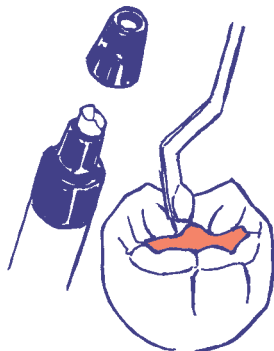
①まず、むし歯を取ります



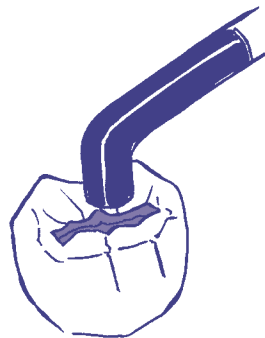
②続いて接着剤を塗ります



③接着剤を光で固めます



④固まった接着剤のうえに  
コンポジットレジンを詰めて  
いきます



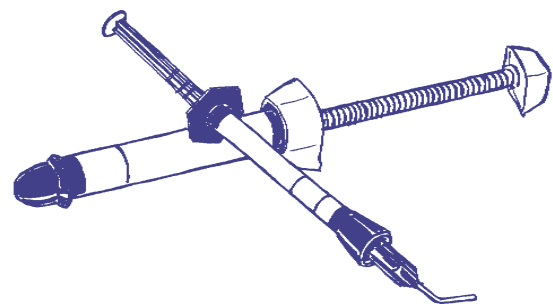
⑤コンポジットレジンを光で  
固めます



⑥詰められたコンポジット  
レジンの形を整え、磨いて完  
成！ 歯と同じ色なので目  
立ちません



光で固まる…というと、ネイルを思い出す人もいるかもしれません。  
光で固まる樹脂はネイルサロンでも使われています



## やりにくい抜歯ってあるの？



たくさんあります。場合によっては  
大きな病院に抜歯をお願いします

抜歯自体が難しかったり、さまざまな病気があったりして複雑な検査や全身麻酔が必要な場合は、大きな病院の「歯科」「口腔外科」にお願いすることもあります。

### ●難しくなる生え方の例



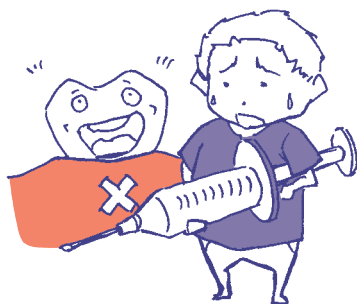
●根が長かったり、根の先が膨らんだりしている(歯根肥大)



●歯が完全に埋まっている(完全埋伏歯)



●抜こうとして、粉々になってしまった



●麻酔が効かない



●神経とからまっている



●歯と骨が一体化している(癒着歯)

# 入れ歯はどうやって作るの？



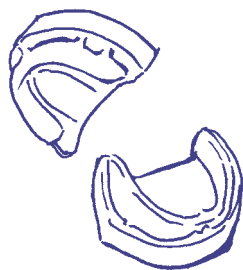
歯があることを想像しながら作っていき、さらに噛むという機能を与えていきます

残っている歯や歯ぐきの形を「型取り」し、さらには入れ歯を入れた後の顔の形や笑顔の様子を確かめながら作ります

## ● 製作の流れ



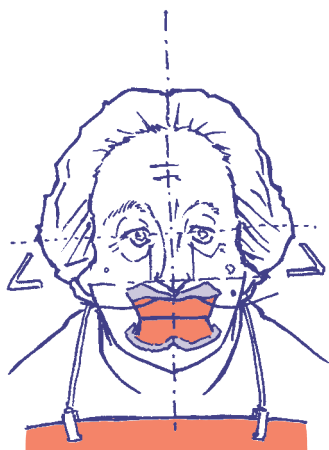
① まずは、型取り。歯が残っていればその歯の、残っていなければ歯ぐきの型を取ります



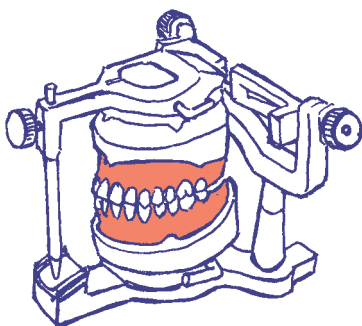
② 上下の歯ぐきの模型ができ上がります



③ 上下の模型を使って、咬合床と呼ばれる噛み合わせ等を記録するものを作ります



④ 続いて、顔のさまざまな指標を咬合床に記録していきます。これにより歯が全部なくても、入れ歯で歯が並べられるのです



⑤ 今度は、④で得た情報をもとに、咬合床に歯を並べていきます。歯が並べば、入れ歯はひとまず完成



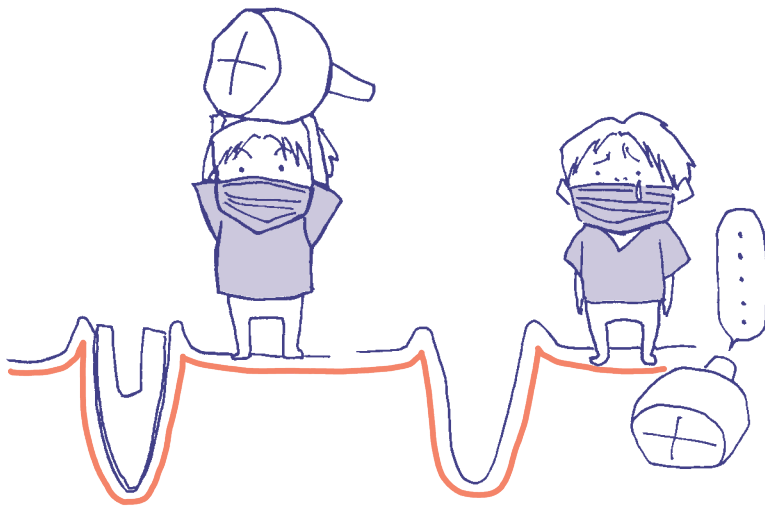
⑥ 患者さんの口に入れて、微調整する。このあと、実際の生活のなかで使ってもらい、さらに調整を繰り返します

# インプラントって結局なに？

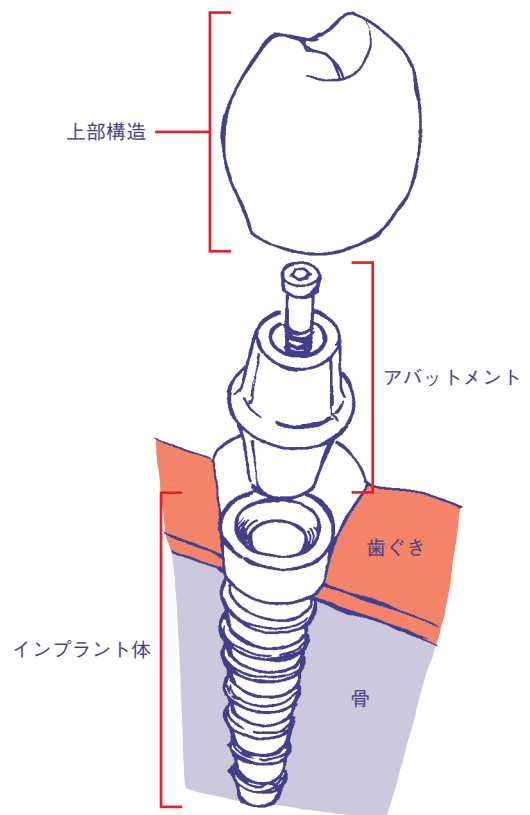
**A** n s w e r  
歯の抜けてしまったところに人工の根っこを入れて、その上に人工の歯を被せます。これがインプラント治療の基本です

一言で「インプラント」といっても、さまざまなパーツに分かれていて、それぞれ特徴や適応症例があったりします。

## ●インプラントの基本構造



歯が残っていれば、多少削っても、コンポジットレジンで修復したり、インレーやクラウンで形を取り戻すことができます。しかし、完全に歯が抜けてしまっていたらどうでしょうか？  
インプラントは、「人工の歯の根っこ」といえます。人工の根っこをまずは入れて、その上に人工の歯(アバットメントと上部構造)を被せるのです



インプラントの人工の根っこには「チタン」がよく用いられます。チタンと骨は仲良しになりやすく、くっつき合います